

ビタミン活動レポート



10/9:10 第87回全国都市問題会議
～コンパクトで持続可能なまちづくりへ～



10/12 高麗スポレク祭
～今年も1,000mにチャレンジ！激走～



11/3 入間航空祭
～圧巻のブルーインパルスアクロバット飛行～



11/8:9 笑顔と元気を未来(あした)へつなぐ『第34回日高市民まつり』
～今年も商工会青年部で元気に参戦！こだわりの太鐘焼きそばを販売！～



11/15 日高市消防団特別点検
～今年は設立70周年記念事業開催～



11/22 日高かわせみの里ツデーウォーク
～今年も「のんびりポツポツ道コース13km」を完歩！～



令和8年度予算要望書を谷ヶ崎市長へ提出！～活気に満ち、将来にわたり持続可能な日高を創るために～

- ①子育て世帯への支援及び保育環境の充実について
- ②少子高齢化・人口減少社会への対策について
- ③ゼロカーボンシティ実現に向けた地球温暖化対策について
- ④市民参加・ボランティア社会の実現に向けた取組について
- ⑤DXの進展等による効率的な行財政運営について
- ⑥市民の健康を守る取組について
- ⑦企業誘致の推進・商工業の活性化について
- ⑧災害に強く安心できるまちづくりの実現について
- ⑨地域公共交通のさらなる推進について
- ⑩教育環境の充実について



政治活動届出団体
加藤しょうご後援会
<https://vitamin-kato.com>



〒350-1236 埼玉県日高市大字猿田37-4 ☎042-985-6135 FAX:042-985-0667 ✉hdk.vitamin@gmail.com

ボランティアのおねがい

ビタミン通信は今後も定期的に発行していきます。地域やお知り合いにお配りいただける仲間を募集中です。ご興味のある方はぜひ、上記の加藤しょうご後援会までご連絡ください。よろしくお願いします。



日高のビタミン通信

よくきく・すぐきく・まちにきく



日高市議会議員

加藤しょうご

新春のお慶びを申し上げます

地域の皆様に支えられ、任期3年が経過 2025年活動報告会を開催しました

2026
1.12
月曜日

日高市議会議員として「元気なひだかを目指す」と決意してから3年。2025年も地域の皆様に温かく支えていただき、商工会青年部・青年会議所の仲間と共に汗を流し、切磋琢磨しながら、1年間を駆け抜けることができました。

活動報告会では、新交通システム実現の第一歩となる「おでかけタクシー」「おでかけワゴン」について、利用状況や収支を踏まえた持続可能性を共有。あわせて、一般質問で取り上げたテーマ（※下記参照）の背景や目的、とりわけ本市の財政状況についてご報告いたしました。

地域活動にも全力、多くの学びを得た2025年。巾着田春まつりでのわんこそば大会、武蔵高萩駅前の夏まつり、さんま焼き師の資格を取得して挑んだ1,000匹のさんまイベントなど、ひとつのアイデアを行動に移すことで、人と人とのつながりが生まれ、想像以上の力が引き出されることを改めて実感しました。

来年度はいよいよ任期4年目。地域の声を市政に届け、「元気なひだか」の実現に向けて、今年も働いて、働いて、働いてまいります。



2025年度の一般質問で取り上げたテーマ

3月議会

～巾着田の環境保全と賑わい創出について～
巾着田河川利活用実証実験の結果を踏まえた来年度の展望および地域のランドマークとなる店舗誘致について質問！

9月議会

～健康のまちへの行政の役割について～
デジタル技術を活用した健康支援の展望および健康のまちの実現に向けた未来像について質問！

6月議会

～市の財政状況について～
基金残高および経常収支比、弾力性向上に向けた方策について質問！
～国勢調査2025について～
回収率向上及び負担軽減、行政施策への活用について質問！

12月議会

～危険鳥獣対策と市民の安全対策について～
緊急銃撃のルール整備およびSNS等を活用した情報発信体制の整備・強化について質問！
～日高市移住コンシェルジュについて～
住まい・仕事・暮らしのワンストップ支援の体制について質問！





下記のQRコードから
一般質問の様子を
ご覧いただけます！



その① 『危険鳥獣対策と市民の安全対策について』
～緊急銃猟のルール整備を！～

《質問の背景・・・》

近年、全国でクマによる人的被害が相次ぎ、日高市でも市民の不安が高まっています。今年9月の法改正により、自治体の判断により市街地での緊急銃猟が可能となり、自治体の迅速な対応が求められる時代となりました。

そこで本市においても、マニュアル策定や関係機関（猟友会・警察・埼玉県）との連携、情報発信体制の強化など、地域に即した体制づくりが急務と考え質問！



安心して暮らせる環境を実現するためには、正確かつタイムリーな情報提供体制の構築が不可欠です。中でも、公式LINEやSNSは即時性と拡散性に優れ、危険鳥獣の出没時などにおける迅速な注意喚起手段として、今後の情報発信体制の中核を担うものと考えます。そこで本市として、SNS等を活用した情報発信体制の整備・強化について質問！！

一般質問抜粋

問 緊急銃猟の体制確立に向け、マニュアル策定をはじめとする体制整備の考えは。

答 11月19日に横手地内でクマと思われる動物の痕跡を初めて確認。今後、クマが人の日常圏に出没するような緊急時かつ危機的な状況下で円滑に行動をとるための対応マニュアルの策定や体制の整備は不可欠であると考えている。

問 猟友会・警察・県など関係機関との連携を、どのように構築していく考えかを伺う。

答 特に市と警察、地元猟友会が主体となって現場対応に当たることから、単なる横断的な協力にとどまらず、情報共有、役割の明確化、現場訓練等を協同で実施し、連携強化を図っていく。

問 危険鳥獣の目撃情報を、市民に迅速かつ的確に届けるための情報発信体制について、今後どのように整備・強化していく考えか。

答 LINEやXなどの公式SNSを活用して迅速に情報発信するとともに、市ホームページ等により正確な情報提供をするよう努めていく。

問 目撃情報に対する判定について、発信する情報の正確性を担保するための体制を伺う。

答 猟友会と連携し、目撃場所で動物の爪痕や足跡、糞等の痕跡を確認し情報発信。緊急を要する場合、防災行政無線や広報車両も活用する。

その② 『日高市移住コンシェルジュについて』
～住まい・仕事・暮らしのワンストップ支援の体制を！～

《移住コンシェルジュとは？》

移住・定住の促進を目的に、10月から市役所内に「移住コンシェルジュ」が設置されました。移住を検討する方々に対し、情報を提供するとともに、移住後の暮らしを具体的に描けるよう、市内を案内する「移住体験ツアー」も実施しています。参加者の希望に応じて柔軟にプランを組み立てるオーダーメイド型のツアーを通じて、不安の解消と定住の後押しを図る取り組みです。



移住希望者が安心して日高市に定住するためには、「住まい・仕事・暮らし」の3要素をワンストップで支援する体制が不可欠です。移住コンシェルジュが各担当部署と連携し、空き家・空き地バンクの住まい情報、就農支援、商工会による創業支援など、仕事面も含めた包括的な支援を行うことで、定住促進につながると考えます。単なる案内にとどまらず、実効性ある支援体制の構築を目指し質問！！

一般質問抜粋

問 若年層や子育て世代を中心とした定住促進、さらには関係人口の創出による地域活性化が期待される戦略的な施策であると考えている。まずは設置に至った背景を伺う。

答 本市若手職員による政策創造プロジェクトチームが「移住・定住」をテーマに研究、設置を提案。相談窓口の明確化や一貫した支援により移住の実現可能性を高められることから、10月1日より運用開始。

問 市外・県外の移住希望者に対して、「広域的」かつ「戦略的」な広報戦略の展開を伺う。

答 埼玉県の移住ポータルサイト「住むなら埼玉。」や都内のふるさと回帰支援センターでのパンフレット配架など、県外からの移住者を意識した情報発信に努める。加えて、都内で開催される移住関連イベントに職員がコンシェルジュとして参加し、直接PRや相談対応を行う。

問 『住まい・仕事・暮らし』包括的な体制へと発展していくことを目指し、現時点でのお考えを伺う。

答 移住に伴う手続きは多岐にわたるため、移住コンシェルジュが担当部署へ案内し、直接職員につなぐ。移住後の生活で生じる疑問や困りごとにも相談に応じ、地域との関係がまだ築けていない段階でも安心して頼れる体制を整えていく。



さんま焼き師が焼く！
岩手県大船渡市直送のさんま

続編

災害見舞金 108,104 円を大船渡市へお届けしました！

（公社）飯能青年会議所の企画「さんま焼き師が焼く！鮮さんま」にて、飯能まつりで販売した鮮さんまの売上の一部『108,104 円』を、大規模林野火災の災害復旧・復興事業のため、大船渡市の渕上市長へお届けしました。※災害見舞金は諸費用を除くさんまの売上金です。

この取り組みは、事業責任者として企画を練る中で、青年会議所メンバーとの何気ない会話から生まれたアイデアを形にしたものです。

7月には、大船渡市が企画する「さんま焼き師」資格を取得し、鎌田水産様より1,000匹のさんまをご提供いただくなど、たくさんのご縁とご協力に支えられて実現しました。

飯能まつり当日には、1,000匹のさんまをお買い求めいただいた皆様から「美味しかった！」という笑顔と温かいお気持ちをたくさんいただくことができました。

人と人とのつながりがこうして形となり、地域の笑顔につながったことを、何より嬉しく、誇りに思っております。

このご縁を大切に、第二弾は日高市の皆様にも、本州日本一・岩手県大船渡市の「鮮さんま」をお届けできるよう、これからも頑張っております！

大船渡市、山林火災の見舞金に関する概要

令和7年大船渡市大規模林野火災に伴う大船渡市災害義援金・災害見舞金の受付

大船渡市ホームページ <https://www.city.ofunato.iwate.jp/archive/contents-37167>



↑10月28日(火)の文化新聞に掲載されました。一部抜粋